シティリビング
オフィスで働く女性のための情報紙
Cityliving
2013.9.13
水・木曜配布
FREE
vol.518
CITY LIVING http://city.living.jp/kyoto

Index シティは休み時間に読んでね

4 10/18・25、11/1・8の各金曜に開催
日本酒と懐石料理を楽しむ夜
7 街のイベントや新店情報がずらり
Town Guide
8 おでかけに使いたい
この秋欲しいストール

シティ世代のリアルボイスから探る
お姉さんとおばさんの境界線

エージレスな現代。あなたの周りにも、40代でお姉さんといわれる人もいれば、20代にしておばさんと思われてしまう人、いませんか？“お姉さん”“おばさん”の境界線はどこに―。読者の声（※）を聞いてみました。

※…シティリビングWebにて、7/17～8/20に実施。有効回答数302

某メーカーの内勤として働く30歳。チームのリーダーを任され仕事に忙しい進中。独身だが、恋活のかいがあって、最近年上の彼氏をゲット。美肌情報とおいしいお店へのリサーチは欠かさない

「電車内で空いている席に勢いよく座るのがおばさん。お姉さんは、無理に座ろうとせず立っている」（24歳・女性）

某金融の一般職で働く30歳。後輩指導を任されているが、つい「最近の若い子は…」といった発言が。結婚して2年目。先日、「あれっ？最近新しい服いつ買ったっけ？」と思い返して、1年前だったことに気づき驚いた

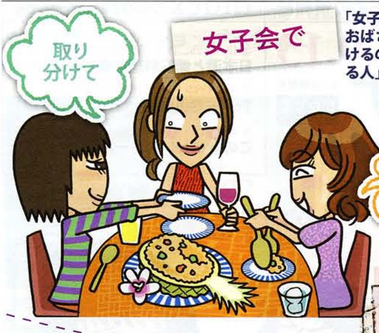
「仕事中、お姉さんはテキパキ働くが、おばさんは独り言が多いイメージ」（25歳・女性）

「大人女子」「美魔女」と違いを読者に聞きました。

「電車内で空いた席があれば、厚かましくすぐに座る」（34歳・女性）、「仕事中に独り言が多いのがおばさん。お姉さんはテキパキ仕事をする」（25歳・女性）など、みなさん思いの判断基準があるようです。

「女子会に一昔前のファッションでくるのがおばさん。お姉さんは、オシャレしてくる」（35歳・女性）

女子会で



「女子会で、大皿料理が出てきたとき、人に取り分けさせるのは、おばさん。お姉さんは、人に押し付けるのでも率先して取り分けるのでもなく、『自分の分は自分で取り合おっか』と言い出せる人」（24歳・女性）

「飲み物はビール、たばこもがっつり吸う。笑い方はガハハ系なのがおばさん。ビールもたばこも控えめ、笑い方もかわいらしいのがお姉さん」（33歳・女性）

「敷居の高い店に集まるのがおばさん、お姉さんはお手ごろでかわいい店を選ぶ」（31歳・女性）

「女子会でやたらとうわさ話をするのがおばさん、やたらと恋愛トークをするのがお姉さん」（30歳・女性）

男性からは、こんな声も…

「合コンでは、みなさん本気の格好をしてきているとは思いますが、そんな中で肌や髪のツヤが劣しくないと、『この人お年を召されているのかな…』と内心、思ってしまいますね」（29歳・男性）

職場で

「おばさんは世話焼き。イメージ的には、あめを混ぜるとおばさんは押し付けてくるけれど、お姉さんは気付かない間にそっとデスクに置いてくれる、さりげない気遣いができる」（30歳・男性）

「『今日は暖いね～』など、やたらと天候の話をするのがおばさん。安くておいしいランチの話や新しくオープンしたお店の話をするのがお姉さん」（30歳・女性）

「若手社員に『○○くん、△△よ』と諭すように言い始めたらおばさん。そっちの世界にいっちゃったかぁと思う。おかん的なオーラを出してきているので、女性としては見れなくなる」（29歳・男性）

街中で

「お姉さんは年代に合っている年相応のオシャレをしているけれど、おばさんは動きやすい機能性だけを重視している」（30歳・男性）

「ノーメイクでも外出可能。気を使う感じがなく、何でも平気。並んでいても順番抜かしをする」（33歳・女性）

「見た目が大事。肌がキレイだったらお姉さん」（27歳・女性）

あなたは お姉さん、おばさん… どっち？

同じ状況でお姉さんといわれる人とおばさんといわれる人は、言動に違いは出るのでしょうか。読者アンケート、街頭アンケートなどで男女にシーンごとのお姉さんとおばさんの境界線を聞きました。

「街中のティッシュ配りを見かけたとき、自分から寄っていくのがおばさん。お姉さんは、渡されたときにだけもらう」（24歳・女性）

「オシャレへの興味のあるなし。出勤前も、お姉さんは、何を着ていくかきちんと考えていく。おばさんは時に考えていなくて、『2日前と同じ服を着ている』と周りに思われても気にしない」（26歳・女性）

「『今の若い人は～』と、若い人を見下しているのがおばさん、一緒に盛り上がれるのがお姉さん」（27歳・女性）

心理面から迫る お姉さんとおばさん

女ゴコロマーケティング研究所 所長・木田理恵さん
女性ならではの視点を生かし、これまでに数々の女性向け商品・サービスの企画などを行う。また、「女ゴコロをつかむマーケティング」などをテーマに企業での講演も

今までの読者の声から、なんとなくお姉さんとおばさんの境界線はわかりましたね。その人の言動の違いで、人の目からどう変わるのか。その心理について、「女ゴコロマーケティング研究所」の木田理恵さんに話を聞きました。

まずは、自分の身だしなみをしっかりと整えることが大事。髪はボサボサ、ノーメイクで、服装も流行遅れ…。そんな女性は、人の目を意識しているかどうかです。

「『女性の意識調査』のデータによると、年齢を重ねるにつれ、人の目よりも自分の価値観を大事にする傾向になるんです。それ自体は悪いことではありませんが、その価値観が“自分が楽”に偏ってしまうと、おばさん化します。おばさんが服にデザインよりも機能性を求めるのも、美を磨かなくなるのも、“自分が楽か”を重視するからです。

内面では、おばさんは厚かましいというイメージも強いですが、『厚かましい』という言葉が出てくるのは、“自分が楽”になるために、人の目よりも自分の価値観を大事にする傾向になるんです。それ自体は悪いことではありません。

まずは、自分の身だしなみをしっかりと整えることが大事。髪はボサボサ、ノーメイクで、服装も流行遅れ…。そんな女性は、人の目を意識しているかどうかです。

配慮ができる人だと思いますね」

「以前、すっぴんで通勤する20代の女性がいました。彼女に対し周りが言ったり、我慢したりしないという、“女性が身なりを整えて外出すること”は、人から見られるよう配慮できる人と見なされる、高いヒールを我慢してまでおしゃれをしようと思う相手への気遣いです。それから、そのようなことをしようと思うと、自然に毎朝早く起きるようになったりと、やはり人への配慮ができ、相手の目線に立てるかが美しい女性として輝くでしょうね。いくら高価なメイクでも、電車の中で化粧なんて、配慮ができない人は、おばさん一直線ですから」

あまり年齢に左右されない？ おばさんのイメージ

シティ読者は“おばさん”に一体どんなイメージを抱いているの？　また、自分自身が「おばさんといわれた経験は？」など、読者アンケートの結果を基に紹介します。

おばさんのイメージは？

- ★服に興味がなく、髪もボサボサ（30歳・女性）
- ★厚かましい（23歳・女性）
- ★おしゃべり（35歳・女性）
- ★あめちゃんをくれる（38歳・女性）
- ★恥じらいがない（31歳・女性）

自分を「おばさん」だと思いますか？

周りから「おばさん」といわれたことはありますか？

左記のように、読者が思う“おばさん”のイメージは、「知識が多い」（26歳）など、いずれもマイナスなものが目立ちました。とはいえ、「おばさんといわれたことがある」に関しては、20代の25%を上回る27%が、30代の25%を上回る30%、40代の25%を上回る35%が「おばさんといわれた経験がある」と答えたのは20代で58%だったのに対し、30代は80%と大幅に増加。それに対して、周りから「憧れる！　すっとキレイでいられる秘訣(ひけつ)があれば知りたい」（25歳・女性）、「肯定的な人が約25%で最多」（34歳・女性）と、肯定的な意見も多かったことについては、「おばさんと思うこと」と答えたのは結果に。

続いて、「言いたくはないが、年相応の美しさがほしい」（37歳・女性）、「憧れるけれど、自分はあまそこまで努力できない、時間もお金もない」（32歳・女性）など、“美魔女”自体はいいと思うけれど、自分はいいという人が多いという感じているのでは、おばさんと真逆の位置にいるような美魔女に